

Strix 5 : 71 (1986)

スズメ *Passer montanus* を採餌した アマサギ *Bubulcus ibis* について

新倉三佐雄

わが国では、一部地域で越冬するほか主に夏鳥として渡来するアマサギ *Bubulcus ibis* は、牛などの家畜について歩いて家畜にたかるハエや、家畜が動くときに飛び出すバッタなどを採餌することでよく知られている。神奈川県下には、家畜を放牧するような環境が少ないので、あまりそのような行動は観察されないが、平野部の水田地帯でカエル、バッタなどを採餌する行動はよく観察される。今回、アマサギが、スズメ *Passer montanus* を採餌する行動を観察し、撮影したので報告する。

1. 採餌場所の環境

この行動が観察されたのは、神奈川県ほぼ中央部に位置する海老名市中野の水田の一画である。当地は相模川の左岸平野部に面積約155haと広がる水田地帯である。近年は、水田の中に学校などの建物が建てられ点在している。

2. 採餌行動

1986年5月10日、田植え前のレンゲソウの花がさく水田で、カエルなどを採餌していた9羽のアマサギのうち1羽が、スズメをくわえて飛び出してくる。近くの道路を人が近づいたため、くわえたまま約200m飛ぶ。降りた水田で何回もスズメを飲みこもうとするが、翼がひっかかりなかなか飲みこめない。やがて飲みこむとどが太くふくれた。この日、周辺の水田では、スズメの巣立ち間もない幼鳥が、地上で親鳥から餌をもらう行動が観察された。アマサギに食べられたスズメも、行動が敏しょうでない幼鳥と思われる。

本文をまとめるにあたり中村一恵氏と浜口哲一氏に、貴重な文献の提供と助言をいただいた。厚くお礼申し上げる。



図1. スズメを捕えたアマサギ。
Fig.1. A Cattle Egret catches a Tree Sparrow.

A Cattle Egret catches a Tree Sparrow

Misao Niikura

I saw a Cattle Egret (*Bubulcus ibis*) with a Tree Sparrow (*Passer montanus*) in its bill in a rice field in Ebina City on 10 May 1986. The egret swallowed the sparrow very slowly. The sparrow looked like a young bird.

4-31, Deguchi-cho, Chigasaki-shi, Kanagawa 253

1986年10月9日受理

〒253 茅ヶ崎市出口町4-31 (神奈川県支部)